



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和4年度12月号
令和4年12月1日

家族の絆を深める冬休みに

校長 大井 敏彰

【心温まる音楽発表会！】

11月28日（月）校内音楽発表会を開催しました。今年は感染防止策として音楽用マスクを着用し、夏頃から練習を重ねてきました。当日は、学年毎に合唱、合奏、リズム表現の発表をしました。発表中、子供たちの表情はマスクで見えませんでした。館内に響く歌声、真剣に演奏する表情、リズム表現で躍動する姿から、子供たちが心から音楽を楽しんでいる様子がひしひしと伝わってきました。どの学年の発表も素晴らしく心が温まる至福の時間となりました。

また、学期末の授業参観では、ブロック毎に音楽発表を公開させていただいています。併せて、各学年の図工作品の展示も行いました。コロナ感染が再び増加傾向に転じ第8波が懸念されておりますが、感染防止に努めながらも、音楽や作品をとおして豊かに自己表現する子供たちをご覧ください。よい機会になればと思います。



【6年生合奏発表「ルパン三世」】

【もうすぐ冬休み！】

気がつくやうに、2学期終業式まで残り3週間となりました。終業式の翌日からは17日間の冬休みに入ります。この間、クリスマスやお正月があり、子供たちはとても楽しみにしています。しかし、楽しむだけでなく、3学期に向けて子供たちが成長する冬休みにしてほしいと願っています。

そのために、冬休み中にご家庭で取り組んでほしいことを3つお示しします。

①家族とのコミュニケーション

冬休みはお子さんが家にいる時間が長くなります。家でも「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんなさい」といったあ

いさつや感謝の言葉をしっかりと交わすようにして、家族間でのコミュニケーションを大事にしてください。

②家のお手伝い

年末年始は大掃除やお正月の準備など忙しくなります。家族の一員として、毎日何か1つ以上のお手伝いをさせてください。ご家庭でのお手伝いをとおして、「責任感」や「人の役に立つ喜び」を育ててください。

③勉強や宿題

冬休みはお子さんの勉強をゆっくりと見られるよい機会です。是非、お子さんの勉強や宿題に付き添い、教えてあげたり一緒に考えたりしながら、お子さんの「学びに向かう態度」を育てあげてください。

【親子の絆を深める「私メッセージ」】

①～③にお子さんが取り組んだ時、どのような言葉を掛けますか。「子どもの心のコーチング（菅原裕子著／PHP文庫）」という本に、子供の言動を強化する魔法のメッセージとして、「私メッセージ」が紹介されています。これは、子供の言動に対して言葉を掛ける際、「〇〇ができて（私は）嬉しいわ」、「（私は）とっても心配していたよ」など、「私」を主語として親の気持ちを伝えるメッセージのことで、このメッセージを用いると、子供は親の言葉を冷静に受け止め、子供自身の言動を強化することにつながるのだそうです。反対に、「（あなたは）何やっているの」、「（あなたは）もっとがんばりなさい」など、「あなた」を主語とした言葉を掛けると、子供は責められているように感じてしまうとのこと。これが繰り返されると、親の話を聞き流したり、内心反発したりするようになるそうです。

冬休みは「私メッセージ」を意識的に使いながら、お子さんとの関わりを深めてください。そうすることで、家族の絆を深める冬休みにしてください。

それではよいお年をお迎えください。令和5年もよろしくお願ひいたします。